

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第98回）に係る面談
2. 日時：令和4年2月28日（月）13時10分～15時35分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、正岡管理官補佐、横山係長、石井係長、  
久川係員、塩唐松係員

福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長、坂本原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 3名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 5名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第98回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 第97回検討会資料1-3において工程見直しを実施した項目の中間目標の設定
- ALPS処理水の海洋放出に係る実施計画変更認可申請の対応状況
- 検討会における過去のコメントへの対応状況
  - ✓ 固体廃棄物の性状把握用 試料採取・分析計画について（2022年度）
  - ✓ 長期保守管理計画の見直しについて
  - ✓ 建屋滞留水処理等の進捗状況について
  - ✓ ゼオライト土嚢等処理の検討状況について
- 3号機残留熱除去系（RHR）配管で検出された滞留ガスに係る対応

○原子力規制庁は上記内容を確認するとともに、以下のとおりコメントを行った。

【第97回検討会資料1-3において工程見直しを実施した項目の中間目標の設定】

- ✓ 目標の達成に向けた全体スケジュールの詳細を示した上で、2022年度における中間目標を説明すること。

【ALPS処理水の海洋放出に係る実施計画変更認可申請の対応状況】

- ✓ ALPS処理水の海洋放出に係る実施計画変更認可申請の対応については、原子力規制庁より審査状況を説明する。

【検討会における過去のコメントへの対応状況】

- 建屋滞留水処理等の進捗状況
  - ✓  $\alpha$ 核種除去設備は、セシウム吸着装置のうちSARRY及びSARRY2への追設が予定されているが、KURIONへの追設の有無等についても示すこと。

- ゼオライト土嚢等処理の検討状況
  - ✓ 回収したゼオライト土嚢等の保管容器の表面線量率の推定値を示すこと。
  - ✓ 現在検討している回収工法によって移送可能なゼオライトの量を示すこと。
  - ✓ 本回収作業における作業員の被ばく対策について検討状況を示すこと。
- 固体廃棄物の性状把握用 試料採取・分析計画について
  - ✓ 分析対象や試料採取数の前提となる分析計画の全体像の策定が完了する時期を明確に示すこと。
- 長期保守管理計画の見直し
  - ✓ 従来の保全に係る考え方を示した上で、変更点及び変更理由を説明すること。
  - ✓ 予備品の調達管理に係る考え方を示すこと。
  - ✓ 事後保全（BDM）から予防保全（TBM）へと変更する必要がある設備や機器等については、その変更予定時期を明確に示すとともに、変更予定時期までにトラブル等が発生した際の対応を説明すること。

【3号機残留熱除去系（RHR）配管で検出された滞留ガスに係る対応】

- ✓ 今回の事象を踏まえて、他系統や他号機における作業の際に考慮すべき事項やその対策の検討状況を示すこと。
- ✓ 今後の全体スケジュールを示すこと。

○東京電力からは、上記コメントのうち対応が必要なものについては検討の上、検討会の資料を作成する旨回答があった。

## 6. 資料

- 第97回特定原子力施設監視・評価検討会資料1-3において工程見直しを実施した項目の中間目標の設定について（案）
- ALPS処理水希釈放出設備及び関連施設の新設について（案）
- 特定原子力施設監視・評価検討会における『過去のコメントへの対応状況』について（案）
- 建屋滞留水処理等の進捗状況について（案）
- ゼオライト土嚢等処理の検討状況について（案）
- 固体廃棄物の性状把握用 試料採取・分析計画について（2022年度）（案）
- 長期保守管理計画の見直し内容（案）
- 3号機 RHR 配管で確認した滞留ガスに関わる対応について（他系統、他号機の滞留箇所の検討）（案）
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップを踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）